

白糠町 道内自治体で初めて津波・洪水想定動画を作製・発信

検索サイトで「白糠町防災啓発用シミュレーション動画」と検索してみてください

<https://www.youtube.com/watch?v=MINN-75Tgn4&feature=youtu.be>



11月はじめのテレビで、白糠町が「津波と洪水の災害想定動画」を作成したとのニュースをご覧になった方もいるのではないのでしょうか。実際の白糠・庶路地域のハザードマップに基づいて、津波がどこまで来るのか、どこに逃げれば助かるのかをCGとイラストで伝える動画です。よく知ってる町の風景に突然津波が押し寄せ、建物を壊し、車を押し流していく様の迫力は大変なものです。河川が決壊し、市街地に洪水が流れ込むさまも、すべてハザードマップをベースにしたもの、可能性の高い被害想定になっています。

この動画が町の内外に、強いインパクトを与えています。

11月19日、白糠町役場に菊原秀雄さん（企画総務部地域防災課課長）をお訪ねして、この動画の作成にかかわるお話を聞いてきました。

◆きっかけは黒潮町の動画

2018年、管内の副町長が南海トラフの大地震への対策を進める高知県黒潮町を視察した時に、NHKが作成した黒潮町の津波シミュレーション動画を目にします。その迫力に圧倒されました。災害が起きても自分だけは大丈夫と思いついた（正常性バイアス）のが人間の性。その人を避難に駆り立てるのはこれだと直観。副町長は帰庁してすぐに、白糠町版の津波シミュレーション動画の生成を指示しました。



◆「ヒストリア」を創っている会社

実際に黒潮町にも足を運び、いくつかの会社も訪ねて、動画の作成を打診。最終的な引き受けたのは、黒潮町の動画をつくった会社で、この会社は浸水データがあれば、それを画像に転換するノウハウを持っていました。NHKの看板番組「歴史秘話ヒストリア」の映像ツールを手掛ける会社です。

白糠町でロケハンを実施、どこの場所のCGをつくるかを綿密に検討、津波だけでなく最新の洪水データ加えることとして、15分の動画に仕上げました。DVDを町内に貸し出しながら、YouTubeで公開もしています。

動画の作成費用は

491万4千円



非常に安価というものではありません。作成するCGやイラストを増やせば、それだけ値段も上がります。しかし避難啓発の効果は大変大きいのではないのでしょうか。釧路市でも、作成を検討してはどうでしょうか？



村上かずしげ

通信 2019. 12. 1

日本共産党釧路市議団 22-6121